

《災害時対応ノート》

年1回あるいは、対象者および家族に変化があった場合に
医療者のご家族と一緒に、指示変更の見直しをしましょう！

あなたの支援が必要です

私の名前は

です

- 人工呼吸が必要です。
- 酸素が必要です。
- たんの吸引が必要です。
- 口から飲んだり、食べたりできません。
- 目が見えません。
- 耳が聞こえません。
- 会話ができません。

※『「災害時対応ノート」作成のための 小児在宅医療的ケア児 災害時対応マニュアル』と項目がリンクしています。マニュアルを見ながらノートを完成しましょう。

「災害時対応ノート」作成のための
小児在宅医療的ケア児
災害時対応マニュアル

愛媛県医師会
愛媛県小児科医会

PDF: /www.shinkai-med.or.jp
愛媛県医師会「小児在宅医療的ケア児（災害時対応ノート）」について
印刷: /www.shinkai-med.or.jp/shinkai-med
愛媛県小児科医会「在宅医療的ケア児のための「災害時対応ノート」マニュアル」について

もくじ

1.	自宅付近で想定される災害状況を知る.....	3
2.	避難場所・避難ルート・避難方法をきめておく	4
3.	緊急時の連絡先を確認しておく	6
4.	医療用具や衛生材料などを備蓄しておく	8
5.	停電への対応を確認しておく	11
6.	たんの吸引が必要な医療的ケア児への備え	12
7.	酸素療法が必要な医療的ケア児への備え	12
8.	人工呼吸器を使用している医療的ケア児への備え	12
9.	停電時の電源確保	13

作成日	/ /	見直し⑧	/ /
見直し①	/ /	見直し⑨	/ /
見直し②	/ /	見直し⑩	/ /
見直し③	/ /	見直し⑪	/ /
見直し④	/ /	見直し⑫	/ /
見直し⑤	/ /	見直し⑬	/ /
見直し⑥	/ /	見直し⑭	/ /
見直し⑦	/ /	見直し⑮	/ /

1. 自宅付近で想定される災害状況を知る

該当地域のハザードマップを参考に想定される災害状況を書き出してみましょう

地震：

断層直下：有・無

津波危険：危険・少し危険・危険無

建物破損：危険・少し危険・危険無

洪水：危険・少し危険・危険無

土砂災害：危険・少し危険・危険無

その他：住居孤立の危険：危険・少し危険・危険無

2. 避難場所・避難ルート・避難方法をきめておく

※地域の保健師等と相談し、記載してください。

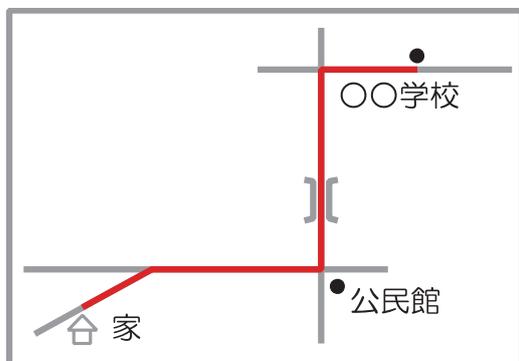
※お住まいの市町へご自身の避難場所について確認しておきましょう。

① 避難のタイミング 例) 津波警報が出たら避難する

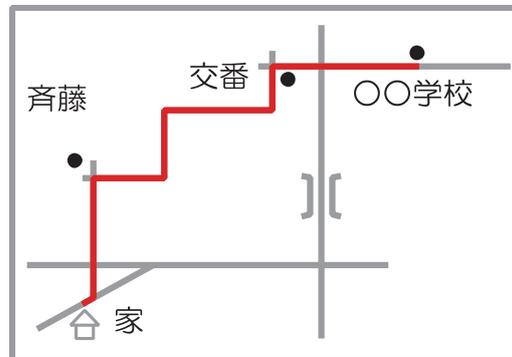
② 避難方法 例) バギーに乗って自家用車で移動、車内で待機

③ 避難場所・避難ルート 例) 家から0kmにある〇〇学校（指定避難所など）
※ 2パターンほど経路を考えてみましょう

例) ルート1



ルート2



避難場所やルートなど、ハザードマップを見ながらマッピングしましょう

3. 緊急時の連絡先を確認しておく

※安否確認災害時伝言サービス・在宅医メールリングリスト・関係者 LINE グループ・位置情報アプリなども確認しておきましょう

家族・親戚

続柄	氏名	電話	LINE-ID
	e-mail :		
	e-mail :		
	e-mail :		
	e-mail :		
	e-mail :		

メモ

関係者

	施設名	氏名	電話
かかりつけ医			
	e-mail :		
病院医師			
	e-mail :		
病院医師			
	e-mail :		
訪問看護①			
	e-mail :		
訪問看護②			
	e-mail :		
訪問看護③			
	e-mail :		
(訪問) 薬局			
(訪問) 歯科			
電気会社			
人工呼吸器			
在宅酸素			
行政担当①			
行政担当②			
相談支援専門員			

4. 医療用具や衛生材料などを備蓄しておく

備蓄物品リスト

＜水・食糧＞	備蓄数・規格等	使用期限等
ミネラルウォーター		
ミルク		
経管栄養剤		

＜医療材料＞			
蘇生バッグ			
呼吸器回路一式			
人工鼻			
気管カニューレ			
Y字ガーゼ			
滅菌精製水			
蒸留水			
吸引 チューブ	口鼻腔用 気管カニューレ用		
酸素ボンベ			
延長チューブ			
栄養チューブ			
胃瘻チューブ			
イルリガートル			
注射器			

＜その他＞			
おむつ			
おしり拭き			
アルコール綿			

<すり ※医療者と必ず確認しましょう。

<処方箋> ↓画像（写真など）を添付↓

<薬品名> ↓画像（写真など）を添付↓

詳細コメント（※医療者にて記載）

各種指示書 ※主治医と相談し、記載 例) 訪問看護ステーション指示書

↓画像(写真など)を添付↓

5. 停電への対応を確認しておく

停電時の対応

- ブレーカーの確認
- 電力会社へ連絡

<伝える内容>

- ① 停電していること
- ② 人工呼吸器・在宅酸素を使用していること
- ③ お客さま番号（13桁）
- ④ 住所
- ⑤ 氏名

※『電気使用量のお知らせ』を添付しておくとう便利です

電力会社連絡先：

6. たんの吸引が必要な医療的ケア児への備え

たん吸引器 内部バッテリー持続時間（ 時間 ）
（連続使用した場合）

7. 酸素療法が必要な医療的ケア児への備え

酸素濃縮器 内部バッテリー 有（ 時間 ） ・ 無
外部バッテリー 有（ 時間 ） ・ 無

*携帯用酸素ボンベ（ L/分）の使用で、1本（ 時間）

8. 人工呼吸器を使用している医療的ケア児への備え

人工呼吸器 内部バッテリー 有（ 時間 ） ・ 無
外部バッテリー 有（ 時間 ） ・ 無

<人工呼吸器の設定> ↓画像（写真など）を添付↓

<人工呼吸器と回路接続> ↓画像（写真など）を添付↓

9. 停電時の電源確保

<電源の確保>

自動車：

↳ シガーライターソケット — インバーター — 延長コード（屋内使用時） — 医療器具

蓄電池（自動車用バッテリーなど）

↳ ケーブル — インバーター — 延長コード（屋内使用時） — 医療器具

自動車用バッテリー① （購入年月日： 年 月 日）：（ 時間）

自動車用バッテリー② （購入年月日： 年 月 日）：（ 時間）

（ ） （購入年月日： 年 月 日）：（ 時間）

接続方法など

UPS：無停電電源装置

接続方法など

持続時間（ 分・ 時間）

自家発電機：エンジンオイル交換時期（ 年 月）

燃料 カセットボンベ

ガソリン（ 自動車・ 携行缶：次回更新 年 月）

接続方法

各種アルカリ電池

乾電池式充電器（携帯電話・スマートフォン用）

手回し充電器

ソーラー式充電器

情報提供書（医師・看護師等、医療者記載用）

ふりがな		性別	男・女	身長	cm
名前				体重	Kg
住所	〒 ー				
診断名					
健康保険証番号			小児慢性特定疾患受給者番号		

主治医 (訪問)	医療機関名		医師名	
	所在地	〒 ー		
主治医 (病院)	医療機関名		医師名	
	所在地	〒 ー		

使用している医療機器				
人工呼吸器	人工呼吸器	侵襲		非侵襲
	自発呼吸	有 ・ 無	酸素	有 (L/分) ・ 無
	呼吸器機種			
	設定換気モード			設定換気回数
	吸気時間			PIP/PEEP
	I : E 比			平均気道内圧
	安定時 1 回換気量			安定時リーク量
	その他			
カニコーレ 気管	製品名			
	サイズ	外径 mm / 内径 mm、 長さ mm	カフ (量)	ml
備考				

栄養	摂取方法	経口・経鼻胃管・経鼻腸管・胃瘻・腸瘻・IVH		
	種類 (サイズ、挿入の長さなど)			
	アレルギー	有(内容:)・無		
	摂取量 ・種類 ・1回量 ・時間 ・1日総量 など			
	備考			
投薬内容	薬品名	P.9 参照	処方箋	P.9 参照
	備考	※投薬時の留意点(詰まりやすい)等		
禁忌薬剤				
排泄	自尿	オムツ・バルーンカテーテル	Fr.	導尿 回/日
	備考			
移動	自立・部分介助・寝たきり・その他()			
	備考			
意思の伝達	会話・筆談・文字盤・意思伝達装置			
	備考			
特記事項				

付録) 避難行動要支援者個別支援計画チェックリスト

* 個別支援計画作成会議等にてご利用ください

実施年月日 _____

項目	確認	備考
自宅付近で想定される災害状況		
医療用具・衛生材料の予備		
療養している部屋の安全対策		
停電対策		
家族以外の支援者の確保		
避難場所・避難所の確認		
移動手段の確認		
治療状況・医療ケアの実施状況		

続柄・所属	氏名

医療が必要な子どもたちの防災対策



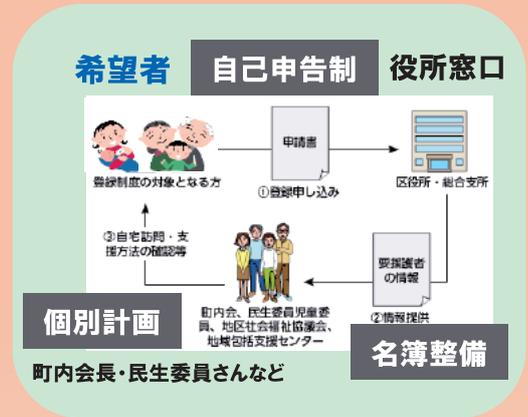
～急な災害があっても生きのびるために～

日本小児科学会
災害対策委員会作成

1. 災害からなんとしても逃げのびましょう

災害時要援護者情報登録制度に登録しよう

- 乳幼児や障がいのある方、難病の方など避難するときにだれかの手助けが必要な方
のところへ近所のだれが助けに来てくれるか決めておける仕組みです
- 自己申告制で役所窓口に出紙を提出します
- 申請書に書く内容は・・・
〔氏名・性別・生年月日・住所・町内会名など〕



2. 安全に暮らせる場所を探しましょう

指定避難所

まず最初に逃げこむ場所
近くの公立の小中学校など

内閣官房 国民保護ポータルサイト

<http://www.kokuminhogo.go.jp/hinan/index.html>

福祉避難所

要援護者に配慮した避難所
災害発生後に開設されます

〇〇市区町村 福祉避難所

検索

3. 普段から防災対策を考えましょう

ヘルプカード

ご家族の連絡先、医療機関などの連絡先、疾患名、お薬情報
薬剤の保管方法、必要な手助け、緊急時の配慮を伝えます

電源の確保

自家発電機の選び方、燃料の保存方法、準備物は？

電気を使わない吸引器

手動式・足踏式吸引器の選ぶポイントは？

災害時や緊急時に子どもに必要な支援が伝わります

切り取って使用ください

手助けしてほしいこと

好きなこと(遊び・歌・言葉・食べ物など)

苦手なこと(音・触わり方・食べ物など)

あなたの手助けが必要です

ヘルプカード

記入日 _____ 年 _____ 月 _____ 日



公認社団法人
日本小児科学会
Japan Pediatric Society

医療が必要な子どもたちの防災 医療機器 >>>

自家発電機

これも便利!

選択のポイント

- ① 使用する電気機器の容量によって機種を選択します
 医療機器: 人工呼吸器 60W 酸素濃縮機 120W 加温加湿器 100W 合わせると 280W
 家電機器: 冷蔵庫 200~400W 冷暖房 200~500W テレビ 150~250W
- ② インバーター機能付きを選びましょう
 安定した出力が得られます

車載用インバーター

シガーライターソケットからAC100Vへ変換



- 呼吸器回路用の人工島使用で、加温加湿器分の節約
- 酸素ボンベで酸素濃縮器分の節約

ご家庭向け

診療所向け



カセットボンベは一日分(24本)を準備しましょう



900W	900W	1600W	2600W	5500W
19.5Kg カセットボンベ 2本で2時間	13Kg ガソリン2.1ℓ	20.7Kg 3.6ℓ	35.2Kg 5.9ℓ	101.7Kg 13.8ℓ
必要最低限の照明		ほとんどの 電気製品	一般家庭の 給電力	小児手術室の 給電力



ガソリンは揮発性の液体なので保管は必ず携行缶で行います
 通気性のよい屋外の物置などへ置いてください
 最低でも3か月に一回は入れ替えましょう
 給油は一旦発電機を止めて行ってください



発電機の使用は必ず屋外で
 屋内に電気を引き込むためのドラム型延長ケーブルを
 一緒に準備しましょう



ボンベ型・ガソリン型ともに
 エンジンオイルの劣化が早いので交換が必要で
 初回は1ヶ月目若しくは20時間運転目
 以降は50時間~100時間
 1年以上使用しない場合でもエンジンオイルの
 交換は必要です

電気を使わない吸引器

電気を使わない吸引器を一台用意しておくとお安心です。ときどき使用して慣れておきましょう
 適正な吸引圧の目安は、口腔内25-30kPa 気管内10-20kPaです $1\text{kPa}=7.5\text{mmHg}$

シリンジ+吸引カテーテルも
 ぜひ、覚えておいてください

手動式吸引器



A社製
 最大吸引圧 210mmHg (28kPa)

特徴 安価
 携帯性に優れる
 手持ちの吸引カテーテルを
 接続して使用できる

- 手動式吸引器は安価で軽いため携帯しやすいことが特長です
- 選ぶときのポイントは、吸引カテーテルを取り外して新しいものに交換できることを確かめてください

足踏式吸引器



B社製
 最大吸引圧 400mmHg (60kPa)

特徴 シューズのように踏む
 足のうら全体をつけて動作する
 ので上体が不安定にならない
 注意 和室のお布団では踏みにくい

- 足踏式吸引器は吸引力が優れています
 ゆっくり踏むと弱く、早く踏むと強い圧になります
 両手を使えるので気管切開の方などには便利です
- 選ぶときのポイントは、踏み込んだときに身体全体が安定して吸引できることを確かめてください

シリンジで吸引



- 吸引のこつ
 たんのあるところまで
 カテーテルをすすめて
 からシリンジを引きます

カードホルダーに入れて肌身はなさず携帯してください 切り取って使用ください

名前 _____ 年 ____ 月 ____ 日生
 保護者名 _____ 血液型 ()
 緊急連絡先 電話 _____ (自宅・携帯)
 メール _____ @ _____
 住所 _____
 学校・施設 _____
 電話 _____ 担当の方 _____
 メモ _____

医療機関名 _____ 科 _____
 電話 _____ - _____ 主治医 _____ 先生
 診断名 _____
 内服薬 _____
 医療機器 _____
 緊急時対応・アレルギー _____

